

「りよくちのいきもの」 みかゆうなクラブ 森田 美佳さん
(千葉県市川市 家族・親戚のクラブ)



みんなに一番伝えたいこと

りよくちけんがくで、いきものはたすけあっていることをしり、えにつきでひょうげんしました。

全国の仲間へのメッセージ

じぶんでできるエコかつどうをしながら、ぜんこくのみんたと、とりくみをきょうゆうしていきたいとおもいます。

みんなでいっしょにとりくんでいけば、たくさんことができるとおもいます。いっしょにがんばっていきましょう！！



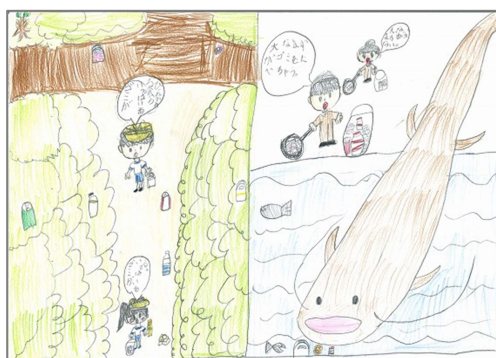
むしやしよくぶつ、きのこもじょうずにかけましたね。いろいろないのちが

たすけあっていること、たべられることでまたつぎのいのちがそだっていくことにきがついたのはすごいとおもいます。

けんがくにいった「りよくち」だけでなく、みじかなところにもいろいろないのちのつながりがあるんじゃないかな？ きをつけてさがしてみてください。もっともったいきもののことがすきになるとおもいますよ。

(公益財団法人日本環境協会 教育事業部 部長 大西 亮真より)

「びわこ大なまずさんへ」 速野小学校2年生 長嶋 美怜さん
(滋賀県守山市 学校・学年のクラブ)



みんなに一番伝えたいこと

この絵を見て、ポイすてのなびわこにしてほしいと思って、描きました。

全国の仲間へのメッセージ

きれいなびわ湖のある滋賀県に、あそびにきてください。

びわ湖には、ビワコオオナマズもいるよ。



絵の右半分いっぱいにかかれたビワコオオナマズが大はくりよく!!その

大きさにまずびっくりしました。日本にしかない魚で、川や湖にすむ魚ではもっとも大きいとも言われているそうです。

大きな魚がまちがってごみを食べつづけてしまったら、おなかの中がごみだらけになってしまうかもしれません。ひろうことも大切だけど、すてないことはもっと大切。今までごみをすてていたおとなたちが、美怜さんの絵日記を見てすてるのをやめてくれるといいですね。

(公益財団法人日本環境協会 教育事業部 部長 大西 亮真より)

「守り続けたい滝川の輝き」

滝川ふれあいキッズ 遠藤 陽菜さん
(静岡県富士市 学校・全校のクラブ)



みんなに一番伝えたいこと

私たちの住んでいる地域にある、とてもキレイな富士山の湧き水が流れる滝川を大切にしたい。

全国の仲間へのメッセージ

私は、全国でどのようなことが行われているのか？よく知りませんでした。今回のきっかけで様々な取り組みをしている子どもたちがいることを知り、嬉しく感じました。一人ひとりの力は微力かもしれないけれど、その微力がたくさん集まれば大きな力になることを信じて、これからもこの気持ちを大切にできたらと思います。

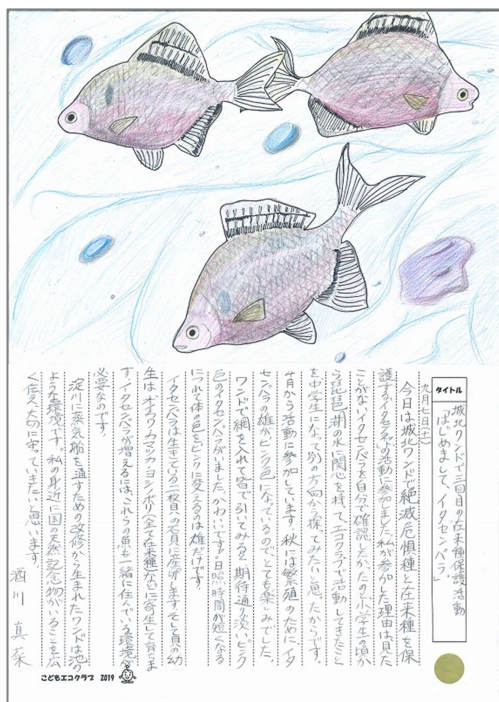


川の水がほんとに流れているように描かれていて、動きのある絵になりました。光り輝く川でたくさんの生き物が見つかったのでしょうか、どの子どもも生き生きと楽しそうです。一方で、拾っても拾ってもごみがなくならないのは本当に残念です。捨てられるごみを減らすために、一人でもできること、みんなで協力してできることを考えてみましょう。友だちと一緒に考え

るといいアイデアが出るかもしれませんよ。(公益財団法人日本環境協会 教育事業部 部長 大西 亮真より)

「城北ワンドで三回目の在来種保護活動「はじめまして、イタセンパラ。」

せいわエコクラブ 酒川 真菜さん (大阪府大阪市 地域の友だちのクラブ)



みんなに一番伝えたいこと

小学校のとき、「水はどこから」のテーマで活動していたので、それをさらに発展的なものにするために、城北ワンドで絶滅危惧種と在来種を保護する活動に3回参加した。それぞれ、学んだことはたくさんあったけれど、3回目に初めてイタセンパラに会えた時の達成感を伝えたい。最後までやりきることができたので、それが一番うれしかった。

全国の仲間へのメッセージ

青森県の HEP21 エコクラブとは、時々交流をしていて、今回も壁新聞部門で受賞されているので、すごいと思いました。

活動している場所も全然ちがうし、全国大会とかでしか会えないので、しっかり交流もして、話を聞いたりできたらいいなと思います。



まるで生きて泳いでいるようなイタセンパラですね！繁殖期の雄の色合いも見事に表現されていて、やっと会えた喜びが伝わってきます。イタセンパラを守るには、ワンドの生態系全体を保護することが必要だ

というのは大切な発見です。「イタセンネット」さんが活動の成果をどう評価し、それを来年度の計画にどのように活かしているのかも機会を見つけて尋ねてみましょう。よい勉強になると思います。(公益財団法人日本環境協会 教育事業部 部長 大西 亮真より)

都合により全国フェスティバル参加辞退のクラブの壁新聞

栃木県 真岡児童館やさしクラブ（真岡市 児童館のクラブ）

みんなに一番伝えたいこと

私たちの児童館の仲間の外国人との活動を通して、日本の良さを改めて感じた一年でした。ラグビーワールドカップや、東京オリンピックなどで、たくさんの外国人の方が、日本に来て、「日本のあたりまえ」の事をたくさんほめてくれました。

外国人の友だちにアンケートをすると、どこに住んでいても人間として環境に良い事をする事、楽しく活動することは世界共通だと思われしくなりました。これからも日本のすばらしい自然を残すためにも、児童館から「ワンチーム」で、出来る事を続けていきたいと思います。



わたしたちの SDGs アクション!



壁新聞の大きな画像はこちらから♪

全国の仲間へのメッセージ

自分たちの住んでいる日本の環境への取り組みは、外国から見るとすばらしいことが多いそうです。

日本から世界へ「エコの輪」を広げられるよう、これからも日本の「あたりまえ」に感謝し、日本の良さを広げていけるように一緒に活動していきましょう!



コーディネーターからのメッセージ

日本から世界の人たちに「エコの輪」を広げていこうとする、皆さんの「ワンチーム」の気持ちが伝わってきました (^ ^♪ 「気づけること」はいろいろな場面でとても重要なことです。

これからも、その気づきを大切に活動してください。期待しています! (栃木県事務局)

静岡県 裾野イオンチアーズクラブ（裾野市 イオンのクラブ）

みんなに一番伝えたいこと

今回の活動、かべ新聞製作を通して思ったこと、分かったことは、エネルギーは私達、人間にとって大切なものということと、そのエネルギーを作るためにやっていることは環境にあまり良くないということです。それは、エネルギーを作る際に発生する二酸化炭素の影響で、地球温暖化が進んでしまっているからです。地球温暖化は、環境にはもちろん、人間にも被害がおよびます。なので、私は、一人ひとりが電気をこまめに消したり、ゴミを減らしたりして、地球温暖化を防ぐようなことをして欲しいです。



わたしたちの SDGs アクション！



壁新聞の大きな画像はこちらから♪

全国の仲間へのメッセージ

みなさんも地球温暖化を防ぐ行動をしましょう。



コーディネーターからのメッセージ

地元の水資源をきっかけに、電力や再生可能エネルギーについて学んだことが分かりやすくまとめられています。

事実をまとめるだけでなく、最後に伝えたいこととして自分たちの考えをまとめることで、活動から学びがあったことがとてもよく伝わってきます。（静岡県事務局）

愛知県 木曽川いたせんぱらクラブ（一宮市 学校・クラブ活動のクラブ）

みんなに一番伝えたいこと

国の天然記念物である木曽川のイタセンバラは絶滅危惧ⅠA類に指定されています。その保護につながる活動の一つとして、広報活動をしています。

高校生の私たちが学んだことを地域の方に発信して、保護を呼び掛けています。小学生に向けてオリジナルの「イタセンバラかるた」を制作し、かるた大会を実施しています。小学生は楽しくイタセンバラについて学んでいました。未来を担う世代に向けて保護活動の大切さを伝えることができました。



わたしたちの SDGs アクション！



壁新聞の大きな画像はこちらから♪

全国の仲間へのメッセージ

みなさんにとっての宝物は何ですか？イタセンバラは小さな魚ではありますが、木曽川の宝物です。私たちは、この小さな地域の宝物を守るために、地道に活動を続けています。そして、多くの方にイタセンバラを知ってもらえるようになりました。かけがえのない宝物を未来に残していくために私たちにできることを私たちと一緒に探していきませんか。



コーディネーターからのメッセージ

木曽川イタセンバラ部は、イタセンバラを「地域の宝」とすることを目標に、様々な保全活動に取り組まれています。

壁新聞は、「学習・研究活動」「保全活動」「広報活動」の3つの活動がよくまとまっていると思います。また、四季のイタセンバラの様子がとてもよく分かります。

今後も、地域の身近な自然を大切に活動をしていくことを期待しています。（愛知県事務局）

三重県 三重中学校・三重高等学校 科学技術部（松阪市 学校・クラブ活動のクラブ）

みんなに一番伝えたいこと

科学技術部は主に海・森について地域と関わり合いながら活動をおこなってきたが、今回はその中でも高校1年生の視点から見た「海・環境教育」をメインテーマにして作成した。

これまでどんな環境教育をしてきたか、私たちが普段どんな想いを持って環境教育をおこなってきたのか、実際に環境教育をしてみてもどんなことを思ったのか、ということに重きを置いて作成したので、それらに注目して読んでほしいと思う。

私たちの環境教育 高校1年生より ～現状、部員の感想と伝えたい想い～
三重中学校・高等学校 科学技術部 高校1年生

海の活動
私たちは三重中高科学技術部に所属しており、地元松阪市にある松名瀬干潟にて生物多様性の調査をおこなっている。
先輩から後輩へ調査を受けつぎ、今年で9年目となる。調査の結果や考察、経験から多くの事を学んだ。

しかし、松名瀬干潟が貴重な環境であることを知っている人は、地元の方たちでさえ少ない。
松名瀬干潟の生態系を持続可能にするために、この知識を多くの人に広めていこう！また、海・環境についての意識も持ってもらう！
自分たちでプログラムを作成して、環境教育をすることに

これまでおこなってきた主な環境教育

- 干潟以外の場所でおこなう環境教育
 - 員のキーホルダーづくり
 - タッチプール
 - モビールづくり
- 実際の干潟をフィールドにおこなう環境教育
 - 潟干潟の生き物探し
 - アサリの浄化実験
 - ビーチコーミング
 - 干潟の植物観察

〈感想〉
・員のキーホルダーづくりやタッチプール、モビールづくりから「(実際に)海に行ってみよう」という声が出てきた。生き物探しや浄化実験では参加者が意欲を持って生き物と触れ合っていて、小さい子どもにも生物に興味を持ってもらえるよううれしく感じた。
・参加者が私たちの企画に積極的に参加してくれ、海や松名瀬干潟、そこに生息する生物たちに興味を持ってもらえたと感じたとき、やってよかった、というやりがいを感じる。環境教育の企画・運営や、その中で伝えたいことを伝え、参加者の意識を変えられるようにする、ということは私たちの学びをくわえて、成長させてくれた。
〈想い〉
・これから、環境教育を通して参加者に海の生態系に興味を持ってもらい、普段の生活の中に自然に配慮した視点を持ってもらえるよう、努力していこうと思う。
・環境教育は参加者の意識に大きく影響できるものであり、同時に主催者側にも多くの学びをさせてくれる。この企画をこれからも続け、海・環境を意識し、松名瀬干潟の貴重さに気づいてくれる人を増やしていきたいと思う。

今年環境教育を企画したイベント

- 6月9日 環境フェスティバル in 多気
- 6月23日 西黒部の干潟観察会
- 9月22日 まつさか環境フェア
- 10月6日 伊勢市環境フェア
- 10月26日 TOYOTA SOCIAL FES!! in 松名瀬
- 11月10日 松阪木橋フェスティバル
- 12月15日 みえ環境フェア

これらのイベントを通して、多くの参加者に海の生き物や環境について知ってもらえた。

24-04 三重中学校・高等学校 科学技術部

わたしたちの SDGs アクション！



壁新聞の大きな画像はこちらから♪

全国の仲間へのメッセージ

皆さんが活動を続けていき、その活動を伝播させ、一方でお互いの活動を理解して協力していくことで、お互いの目指している目標の達成につながり、またその積み重ねが世界的な環境問題への解消へ繋がると思います。
今回は新型コロナウイルスの影響でフェスティバルが中止となってしまいましたが、皆さんも病気にかからないように体調の管理と感染症予防を徹底して、これからも共に活動を活発に行っていきましょう！



コーディネーターからのメッセージ

三重中学校・高等学校の科学技術部の皆様には、今後も松阪市が誇る豊かな生物多様性を持つ松名瀬干潟の希少性・重要性の保全活動や後世に残していけるような取り組みを続けていただき、科学技術部のさらなる活躍を応援しています。
これからも活動を頑張ってください！（松阪市事務局）

大阪府 大阪市立新北島中学校科学技術部 (大阪市 学校・クラブ活動のクラブ)

みんなに一番伝えたいこと

このポスターは以前北海道で使用したポスターを縮小したもので、僕たち科学技術部での環境活動をまとめてプリントアウトしています。そして当時の写真とコカ・コーラ環境フォーラムで行ったことなどを様々な色紙に書いてはりつけています。日本全国から集まってきた人たちと交流でき、岡山から来た人とも友だちになりました。来年行くチャンスがあればまた行ってみたいです。



わたしたちの SDGs アクション！



壁新聞の大きな画像はこちらから♪

全国の仲間へのメッセージ

僕たちの活動は、「自然」に触れ合うことをメインにしています。

お金を払えば様々な遊びができる今、僕たち普段の生活では中々「自然」に触れ合うことが難しくなっています。草むしり・ゴミ拾い・生物観測。そんな「貴重な普通」に、後輩たちには取り組んでもらいたいです！

(3年 S.M)



コーディネーターからのメッセージ

9年間の活動の積み重ねで貴クラブが現在あることがこの1枚の新聞を通して理解できます。1回限りの活動ではなく継続的な活動となっているところが素晴らしいです。

その成果が第26回コカ・コーラ環境教育優秀賞受賞につながったことが伝わってきます。(大阪市事務局)